

文しょうパズル

②①

く

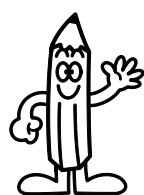
③①

ことばをならびかえて、

正しい文ぶんを書かこう。

文^{ぶん}しょうパズル

②1



名前

左^{ひだり}の^{こと}ばを^をじゅんじょよくならべて、^{ただ}正しい文^{ぶん}を^か書^かこう。点^{てん}([、])や丸^{まる}(^{。、})もわすれずに。

A

たはじ

食べ始めました。

ある

歩きだし、

のらねこは、

ゆっくり

のっそりと

かんづめのえさを、

B

たの

めだかは、

およ

泳いでいるようですが、

楽しそうに

ねらわれています。

たくさんの

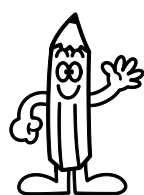
てきに

いつも、

のんびり

文^{ぶん}しょうパズル

②



名前

左^{ひだり}のことばをじゅんじょよくならべて、正^{ただ}しい文^{ぶん}を書^かこう。点^{てん}(・)や丸^{まる}(○)もわすれずに。

A

はる

春になると、

おがわ いけ

小川や池の

あらわします。

すいめんちか

水面近くに、

めだかが

B

はる ひ

春の日に、

もぐらは、

かえると

あるあたたかい

のぼ

登りました。

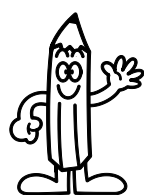
おかに

いつか

かけっこをした

ぶん 文しょうパズル

②3



名前

ひだり
左のことばをじゅんじょよくならべて、
ただ
正しいぶんぶん
文を書こう。点（てん）（ ）や丸（まる）（ ）もわすれずに。

A

カメ太の
た

心ぞうは、
しん

心配で、
しんぱい

ことが

ぼくの

ドクドクしていました。

B

黄身を
きみ

白身が、
しろみ

すきとおった

かこんで

生たまごの中には、
なま なか

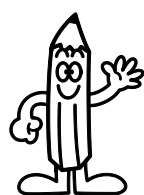
入っています。
はい

とろとろの

やわらかい

文しょうパズル

24



名前

左のことばをじゅんじょよくならべて、正しい文を書こう。点（・）や丸（○）もわすれずに。

A

めだかは、

生きているのです。

自然の

てきから

いろいろな方法で

たえながら

身を守り、

きびしさに

B

小さな足が、

すぽっと

入ります。

つめたい

雪の中に、

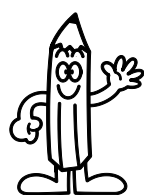
ときどき、

はだしの

おにたの

文しょうパズル

25



名前

左の^{ひだり}ことばをじゅんじょよくならべて、^{ただ}正しい文^{ぶん}を書^かこう。点^{てん}(・)や丸^{まる}(○)もわすれずに。

A

始^{はじ}まったよう^な

日^ひです。

いきなり

暑^{あつ}い

夏^{なつ}が

B

クローバーが

青^{あお}々と広^{ひろ}がり、

さいています。

点^{てん}々のもようになっ

交^まぎった

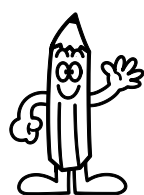
たんぽぽが、

黄^{きいろ}色の花^{はな}の

わた毛^げと

文しょうパズル

②6



名前

左^{ひだり}のことはをじゅんじょよくならべて、
正^{ただ}しい文^{ぶん}を書^かこう。点^{てん}(・)や丸^{まる}(○)もわすれずに。

A

冬^{ふゆ}のあいだじゅう、

明^{あか}るいことか。

ずっと

生^うまれてから

あなの中^{なか}とくらべて、

すごしてきた

ここはなんと

B

信号^{しんごう}が

ブレーキを

運^{うん}転^{てん}手^{しゅ}の

にこにこして

かけてから、

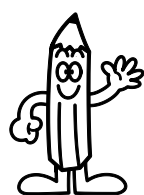
赤^{あか}なので、

松^{まつ}井^いさんは、

答^{こた}えました。

ぶん 文しょうパズル

27



名前

ひだり
左のことはをじゅんじょよくならべて、
ただ
正しいぶん
文を書こう。てん
点（、）やまる
丸（。）もわすれずに。

A

はし

走りだしました。

しんごう

信号が

くるま

たくさんの車が

あお

青にかわると、

いっせいに

B

はなし

お話をしているかのように

き

聞こえてきます。

おと

ミシンの音が、

なに

何か

はや

速くなったり

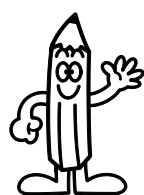
たえず、

まるで

おそくなったり、

文しょうパズル

②8



名前

左の^{ひだり}ことばをじゅんじょよくならべて、^{ただ}正しい文^{ぶん}を書^かこう。点^{てん}(・)や丸^{まる}(○)もわすれずに。

A

まるで

切る。^き

空^{そら}を飛^とんでいる

気分^{きぶん}で、

心地^{こころ}よく

風^{かぜ}を

B

ごんは、

住^すんでいました。

いっぱいしげった

小ぎ^こつねで、

しだの

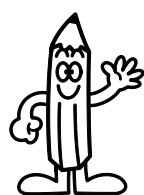
森^{もり}の中^{なか}に、

ひとりぼっちの

あなをほって

文^{ぶん}しょうパズル

②9



名前

左^{ひだり}の^{こと}ばを^をじゅんじょよくならべて、
正^{ただ}しい文^{ぶん}を^か書^かこう。点^{てん}(・)や丸^{まる}(○)もわすれずに。

A

ペットボトルの

プラスチックの

仲間^{なかま}です。

原料^{げんりょう}は

作^{つく}られる

石油^{せきゆ}で、

同^{おな}じように

石油^{せきゆ}から

B

水族館^{すいぞくかん}には、

多^{おほ}くの^{ひと}人に、

すぐたやくらしぶりを

さまざまな

生^いき物^{もの}の

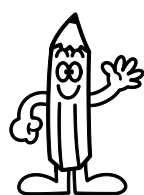
あ^あります。

役^{やく}わりが

見^みせるという

ぶん 文しょうパズル

③0



名前

ひだり
左のことはをじゅんじょよくならべて、
ただ
正しいぶんぶん文を書こう。てん
点()やまる
丸()もわすれずに。

A

あらい息を

いき

顔を

かお

ハアハアと

走っていた。

はし

しながら

赤らめて、

一生けん命

みんなは

あか

いっしょうめい

B

ひびいていました。

こえ

きんきん

晴れていて、

は

もずの声が

からっと

空は

そら

【こたえ】

※この通りとおでなくても、文の意味ぶん いみがあつていれば、正解せいかいです。

②1 A のらねこは、のっそりと 歩きだし、 かんづめのえさを ゆっくり 食べ始めました。

②1 B めだかは、のんびり 楽しそうに 泳いでいるようですが、 いつも、 たくさん の ときに ねらわれています。

②2 A 春になると、 小川や池の 水面近くに、 めだかが すがたを あらわします。

②2 B あるあたたかい 春の日に、 もぐらは、 いつか かえると かけっこをした おかに 登りました。

②3 A カメ太の ことが 心配で、 ぼくの 心ぞうは、 ドクドクしていました。

②3 B 生たまごの中には、 すきとおった とろとろの 白身が、 やわらかい 黄身を かこんで 入っています。

【こたえ】

※この通りとおでなくても、文の意味ぶんいみがあつていれば、正解せいかいです。

②4 A めだかは、色々な方法で てきから 身を守り、自然の きびしさに たえながら
生きているのです。

②4 B おにたのはだしの 小さな足が、 つめたい 雪の中に、 ときどき、 すぽっと
入ります。

②5 A いきなり 夏が 始まったような 暑い 日です。

②5 B クローバーが 青々と広がり、 わた毛と 黄色の花の 交ざった たんぽぽが、
点々のもようになって さいています。

②6 A 冬のあいだじゅう、 生まれてから ずっと すごしてきた あなの中とくらべて、
ここはなんと 明るいことか。

②6 B 信号が 赤なので、 ブレーキを かけてから、 運転手の 松井さんは、
にこにこして 答えました。

【こたえ】

※この通りとおでなくても、文の意味ぶんいみがあつていれば、正解せいかいです。

②7 A 信号が 青にかわると、 たくさんの車が いっせいに 走りだしました。

②7 B ミシンの音が、 たえず、 速くなったり おそくなったり、 まるで 何か お話をしているかのように 聞こえてきます。

②8 A まるで 空を飛んでいる 気分で、 心地よく 風を 切る。

②8 B ごんは、 ひとりぼっちの 小ぎつねで、 しだの いっぱいしげった 森の中に、 あなをほって 住んでいました。

②9 A ペットボトルの 原料は 石油で、 同じように 石油から 作られる プラスチックの 仲間です。

②9 B 水族館には、 多くの人に、 さまざまな 生き物の すがたやくらしぶりを 見せるという 役わりが あります。

【こたえ】

※ この通りとおでなくても、文ぶんの意味いみがあつていれば、正解せいかいです。

③⑩ A みんなは、ハアハアと あらい息を しながら、顔を 赤らめて、一生けん命 走っていた。

③⑩ B 空は からっと 晴れていて、もずの音が きんきん ひびいていました。